

松原を元気にするオンラインサロン

第7回
(2022年4月17日)



新年度スタート ドッキドキを 応援したい！

●新年度がスタートです！

満開の桜を仰ぎながら、令和4年度がスタートしました。大きな変化があってもなくても、真新しい気持ちになれる4月。オープニングトークでは、ドッキドキの小学校1年生をやさしくサポートするボランティア「エプロン先生」の取り組みを田崎由佳さんから、また、小田哲司さんからは、まちづくり絵本「こんな町に住みたいナ」（延藤安広・晶文社）が紹介されました。

この松原を元気にするオンラインサロンも、みんなのドッキドキや願いを大切にする場にしていきたい。そんな思いを新たに新年度が始まりました。

●外国にルーツのある子どもが元気になる活動

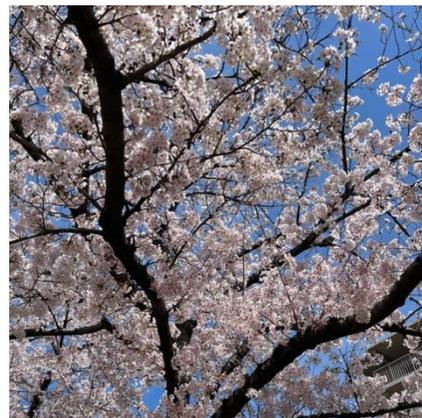
松原を元気にするゲストトーク第7回は「アジア協会アジア友の会 JAFS松原」の谷岡康男さんです。市内の外国にルーツのある子どもを中心に子ども国際ひろばやカラフルキッズの取り組みなどについてご紹介をいただきました。「松原で暮らす外国の子は増えていますが、学校や学級では、まだまだ少数で孤立しがちです。地域で居場所づくりができないか」という思いで、はーとビュー（松原市南新町）などで取り組みを続けてこられました。これから益々、進む地域の国際化にむけても、とても大切なお話でした。

●参加者の感想

アジア協会友の会の活動のお話を聞いてすごい！と思いました。子どもたちの遊びを中心につながりを育て、小学生、中学生がOB、OGとなって活動に参加していける。こういう仕組みがとても素敵です。

また、教員だった谷岡先生が学校で働いていた頃、橋本未子さんをはじめアジア協会のみなさんにお世話になったからご恩返しをしたいと、退職後に活動を始められたつながりも、とても素敵だと思いました。

(田崎由佳)



満開の桜

